



錦江町の知ってるようで知らない
スポットを紹介します。
今回は、若宮神社編です。

● 若宮神社

若宮神社は川原地区にあり若宮八幡とも呼ばれています。祭神は仁徳天皇で、創建は不詳ですが「文明一七年十一月大旦那建部頼安」の棟札が納めてあります。

境内にはスギ・クス・ムクロジなどの古木が多数繁茂しており、町指定の文化財になっています。

● 神楽舞面

若宮神社の祭りの際に古くから神楽舞面として使用された木製のお面です。

お面は八面あり、能の前進田楽、猿楽の流れを汲んでおり、祈願成就のために奉納された可能性もあります。

作者は不詳ですが、裏面に墨書の跡が見られるものもあり室町時代ごろの作と見られるものが何面かあります。

現在は、神官の方が保管しているようで、町の指定文化財になっています。



● 川原相撲

神社の境内には土俵があり、古くから奉納相撲が行われていました。

途中、途切れていましたが今は復活して「川原むらづくり相撲大会」として子供たちから大人まで、大きなイベントのひとつとして参加、観戦しています。

今年はまだ終わってしまいましたが、来年以降も開催されますので、是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



階段の両脇に立っている仁王像



参道は一〇〇段近い階段になっており、
運動不足の方は息が切れてしまうかも

